

# 豊潤の里 だより

## 新年のごあいさつ

木谷自治協議会 会長 折河美代次

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。その年を象徴する漢字として昨年は「災」が選ばれました。これは日本全国で地震や豪雨等の自然災害が多発し、尊い命がたくさん失われたことによるものです。西日本豪雨では、木谷も地域全体が失われるような大災害はありませんでしたが、甚大な影響を受けました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。新しい年が平穩無事な1年でありますようお願いしております。

ところで、木谷自治協議会は「人の和を大切に、次の世代へとつなげる木谷」を目標に掲げ、皆様のご協力をいただきながら取り組んでいます。しかし、現在色々な課題が山積しています。

1. 民間企業による「産業廃棄物処分場」建設計画の問題
2. 少子高齢化の問題
3. 農業後継者育成の問題
4. 木谷地域「まちづくり計画」5か年計画の見直し 等

一歩一歩少しずつ前進しておりますが、まだまだ皆様のご支援やご協力が必要です。皆様と共に力を合わせ、「夢のある・健康で元気な木谷」を築いていきましょう。

## 高垣市長と語る ～わがまち No.1 ふるさと夢トーク～



1月20日、東広島市主催の「わがまち No.1 ふるさと夢トーク」が安芸津生涯学習センターで開催されました。

会は、市長の講演のあと町内の6自治協（自治会）の代表者が、地域の現状や課題、ふるさと自慢、地域が目指す将来像について発表し、それに市長がコメントする形式で進められました。

木谷自治協からは折河会長と吉田教育文化部長が出席しました。

（発表要旨）【現状や課題】：① 民間企業による産業廃棄物処分場建設計画反対 ② 地域も協力し木谷小学校を日本一の学校に ③ 特産農産物（馬鈴薯）の生産後継者育成

【ふるさと自慢】：① 地域ぐるみで支援している伝統ある祭り（大名行列） ② 若い農業後継者増加の兆し ③ 温暖で海に面した風光明媚な地域

【将来像（夢）】：① “とびしま海道”の大崎上島と赤崎への延伸 ② 赤崎にある「安芸津クリーンセンター」と「安芸津最終処分場」跡地の地域振興につながる活用

# 11/24 Discoverひがしひろしまツアー (学生との交流)



東広島市が主催し木谷自治協議会が協賛する、学生と地域を結ぶイベント「Discover ひがしひろしまツアー」で、企画・運営の学生を含む12名(うち4名が中国から、1名がシリアからの留学生)が木谷を訪れました。初日は釣り体験や赤崎海岸の散策で木谷の豊かで美しい自然を満喫、料理サークルの学生が作った夕食を味わいながら地域の人たちと交流し、夜は妙専寺に泊りました。



地域の人の応援も得ながら、夕食は学生たちが調理。



背中に暖かい日差しを浴び、夕暮迫る赤崎海岸を散策。

# 11/25 Discoverひがしひろしまツアー + 赤崎ウォーキング



68名の参加者が晩秋の赤崎海岸を3.5kmコースと7kmコースに分かれて歩きました。「Discover ひがしひろしまツアー」で木谷を訪れた大学生12名も、このイベントに参加・協力。なかでも広島大学の料理サークルの4名は豚汁づくりを担当し、ウォーキングから帰った人やスタッフに振る舞いました。



南端の岬から海と島の大パノラマを眺めました。



100人分の豚汁づくりは初めて。朝7時から頑張りました。

# 地域センターの年末3講座ご紹介

## 12/22 冬休み子ども料理教室



お菓子も料理も自分で作ればもっと美味しい。7名の子どもたちが木村加代子さん・平岡清恵さんと一緒に作ったのはクリスマスケーキ、じゃがいものガレット、ホットドッグでした。



## 12/25 ミニ門松づくり講座



松、竹、梅、南天。13名の参加者が水野哲朗さんに教わりながら、素材を組み合わせ自分流のミニ門松を作りました。

## 12/27 フラワーアレンジメント教室



お正月の家庭を彩る生け花。講師のアドバイスを受けながら8名の参加者が思い思いに創作を楽しみました。

### 木谷地域センターが主催した平成30年度の講座紹介

目的: 地域における生涯学習の機会の充実を図ること

- ① 子ども習字教室
- ② 子ども料理教室
- ③ 夏休みクラフト教室
- ④ フラワーアレンジメント教室
- ⑤ 竹細工教室
- ⑥ お茶の間カフェほぼろ島
- ⑦ 身近な人権講座

来年度については  
現在計画中です。  
お気軽にお問い合わせ  
わせください。

# 産廃処分場建設反対署名 4,682 人!!

産廃建設反対署名の1次集約が、平成30年12月末時点で4,682人分集まりました。昨年10月9日赤崎地区からスタートし、11月10日には郷・西之谷地区へと署名活動は展開し、親戚・友人・知人へとその輪は広がりを見せています。中には東京や大阪といった遠方からのものや、地元の小学生の署名まで、数多くの古里への思いや願いが集まりました。これらの署名は「赤土の古里」を子や孫につなげていく大きな力になると確信しています。ありがとうございました。

反対署名の取組は、これで終わりではありません。さらに一人もう一人と反対署名の数を増やす取組を、我々木谷住民が中心となって進めていきましょう。自治協としても一筆一筆に込められた人々の思いを重く受け止め、地道な活動をしていきたいと思ひます。これからも地域の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



# 部会活動紹介

## 福祉生活部会



12/5 木谷小の持久走大会を豚汁で支援

師走とは思えないほどの暖かな日差しのもとで行われた持久走大会。一生懸命走ったあとは、木谷で育った食材も使った美味しい豚汁が待っていました。 <木谷地区社協 蛟龍>



12/21 おたのしみ会でサンタからプレゼント

クリスマスの日まであと数日。少し早めに木谷保育所を訪れサンタクロースだから、良い子たちにプレゼントが手渡されました。 <木谷地区社協 蛟龍>

## 教育文化部会



12/25 スナッグゴルフの大会に参加

広島カンツリー倶楽部八本松コースで行われた「スナッグゴルフ小学生広島大会 2018」。参加は 13 校 22 チームで、木谷小学校からは 1 チーム（4 選手）が出場しました。

## 自治協役員など



11/29 「めざそう いきいき百歳！楽会」で発表

東広島市主催の「介護予防のための通いの場」の発表会が行われ、木谷のお茶の間サロン「お茶の間カフェ ほぼろ島」ほか 1 団体が日頃の取組みを発表しました。

### <平成 31 年 3 月までの各部会の主な活動予定 >

防災安全部会	2 月 17 日(日)	木谷地域防災訓練
福祉生活部会	3 月 21 日(木)	友愛訪問 <木谷地区社協「蛟龍」>

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口（男女計）	男	女
平成 30 年 12 月末現在	703	1604	777	827
平成 29 年 12 月末との比較	+2	-35	-13	-22

編集：木谷自治協議会事務局 広報担当